

自律するライフスタイルと
ユニバーサル社会を支える
あまみず技術を学ぶ

あまみずコーディネーター 養成講座 2018

都市型水害への対策として、空間的に分散した水管理システムの構築が必要です。そのためには、多くの市民と技術者の参加が不可欠です。分散型水管理システムを推進するために、まずは、その基本の考えと要素技術、それを支えるコミュニティデザインを、多くの人々とともに学ぶ場の設置と継続が重要です。そこで昨年度に引き続き、全国の先進事例に取り組む講師陣を招いて、本講座を開催します。

【時期】 2018年12月21日(金)ー22日(土)

【場所】 東京学芸大学 合同棟大教室 (21日)
〃 環境教育研究センター (22日)

【参加費】 4000円 (社会人) 2000円 (学生) テキスト付

【定員】 80名 (先着)

【募集締め切り】 12月18日(火)

【WEB】 <http://amamizushakai.wixsite.com/amamizu/h30>
(詳細はこちらに掲載します)

DESIGN : KENICHI MASAKI



▲ 過去の演習の様子

【こんな人におススメ】

- 基礎コース (21日・22日午前のみ) :
あまみず活用した家づくりや、環境にやさしい社会づくりに関心のある人
(一般の方もぜひ！)
- 応用コース (21日・22日) :
建築・土木・造園などの技術者で、あまみず活用を仕事に適用したいと考えている人

【講師／プログラム】

- 基礎コース「座学」 (21日 9:00～12:40、22日 9:00～10:40)
 - ・ 島谷幸宏 (河川工学・河川環境 九州大学工学研究院教授)
／あまみず社会とグリーンインフラの現代的な必然性
 - ・ 山下三平 (景観・デザイン・まちづくり 九州産業大学教授)
／あまみず社会の舞台と展開
 - ・ 神谷博 (雨の建築 法政大学兼任講師) ／あまみず活用の技術規準と認定制度
 - ・ 森本幸裕 (景観生態学 京都市都市緑化協会理事長) ／雨庭の思想と技術 (わざ)
 - ・ 渡辺亮一 (水環境工学 福岡大学教授) ／雨水ハウス
 - ・ 浜田晃規 (河川工学 福岡大学助手) ／あめにわ憩いセンター
 - ・ 阿野晃秀 (ランドスケープデザイン・京都学園大学助手)
／雨庭のデザイン
 - ・ 佐藤正吾 (京都市都市緑化協会) ／地域植生の復元と庭園
 - ・ 渡辺剛弘 (上智大学准教授) ／善福寺川流域における雨庭の試み
- 応用コース「座学・演習」 (基礎コース + 演習 22日 10:50～15:00)
 - ・ 竹林知樹 (ランドスケープデザイン ランドスケープアーキテクト (竹林知樹スタジオ))
／あまみずデザインワークショップ
 - ・ 終了後、国分寺駅周辺にて懇親会。

【CPD 認定】

技術士 CPD、東京都建築士会 CPD (基礎コース 3 単位、応用コース 8 単位)、
造園 CPD (基礎コース 3 単位、応用コース 7 単位)

【主催】

あまみず社会研究会 (国立研究開発法人 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター
「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域平成 27 年度採択プロジェクト)

【後援】

土木学会景観・デザイン委員会 日本建築学会雨水活用推進小委員会 日本都市計画学会
日本造園学会関東支部 日本景観生態学会 東京都建築士会 (申請中)
雨水貯留浸透技術協会 雨水ネットワーク 風景デザイン研究会
九州産業大学水循環社会技術研究所 福岡工業大学環境科学研究所

【申込み／問合せ】

Email: contact@tomokitakebayashi.com に、①氏名 ②所属 ③住所 ④携帯電話番号
⑤希望コース ⑥懇親会 (22日) ご出欠を書いてお申込み下さい。郵送の場合は
〒8191105 福岡県糸島市潤 3-23-17-105 まで。電話 070-2400-1789